

平成24年度 県予算編成  
及び施策の策定に関する

# 要 望 書

(平成23年8月)

和歌山県町村会



## 平成24年度 県予算編成 及び施策の策定に関する要望

平素は、県内町村の自治振興の発展につきまして、格別のご高配とご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、町村においては、過疎化・少子高齢化社会への対応や防災・減災対策、社会基盤の整備等々、解決すべき課題が山積していますが、知恵と工夫を凝らしながら様々な施策を展開しているところです。

このような中で、我々町村は、行政体制の整備や健全で節度ある財政基盤の充実強化に努めておりますが、なお多くの課題に直面しています。

つきましては、平成24年度の予算編成及び施策の策定における重点要望項目等を取りまとめましたので、その実現につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年8月

和歌山県町村会

会 長 中 山 正 隆



# 目 次

## ◎ 重点要望事項

- 1 防災・減災対策の推進…………… 3

## ◎ 共通要望事項

- 1 農林水産対策の充実…………… 7
- 2 社会福祉対策の充実…………… 9
- 3 生活環境の整備促進及び環境保全対策…………… 10
- 4 国道の整備促進…………… 11

## ◎ 各郡要望事項

### 【海草郡】

- 1 県道等の整備促進…………… 15
- 2 緊急雇用創出事業について…………… 15
- 3 ふるさと雇用再生特別基金について…………… 15

### 【伊都郡】

- 1 県道等の整備促進…………… 19
- 2 河川等の整備促進…………… 19
- 3 教育関係施策について…………… 20

### 【有田郡】

- 1 県道等の整備促進…………… 23
- 2 河川等の整備促進…………… 24
- 3 湯浅広港港湾整備事業の促進…………… 25
- 4 J R 駅舎等の対策…………… 25
- 5 生活環境の整備促進…………… 26
- 6 重要伝統的建造物群保存地区町並み保存のための  
技術的支援・財政的援助…………… 26
- 7 小水力発電計画について…………… 27

## 【日高郡】

- 1 県道等の整備促進…………… 3 1
- 2 河川等の整備促進…………… 3 2
- 3 煙樹海岸整備事業の促進について…………… 3 3
- 4 由良港の整備促進について…………… 3 3
- 5 防災対策について…………… 3 4
- 6 看護師養成所の設置に対する財政措置について…………… 3 4
- 7 企業立地基盤の整備について…………… 3 5
- 8 農林水産対策の充実について…………… 3 5

## 【西牟婁郡】

- 1 県道等の整備促進…………… 3 9
- 2 河川等の整備促進…………… 4 0
- 3 海岸環境整備の促進について…………… 4 1
- 4 漁港整備事業について…………… 4 2
- 5 砂防及び急傾斜地崩壊防止対策について…………… 4 2
- 6 公共下水道事業に対する県交付金の  
引き上げについて…………… 4 3
- 7 公設の情報通信施設の維持管理及び更新時の支援…………… 4 3

## 【東牟婁郡】

- 1 防災対策について…………… 4 7
- 2 県道等の整備促進…………… 4 8

# 重点要望事項



# 1 防災・減災対策の推進

東南海・南海地震や風水害等の自然災害に対し、各地域において充実した防災・減災対策の強化を図るため、次の事項を推進されたい。

1. 国の新たな被害想定の見直しを促し、一刻も早い県の被害想定の見直しを行うとともに、地域防災計画の抜本的な見直しを行われたい。

## 2. 津波対策の促進

(1) 津波避難ビル・津波避難タワー等緊急避難場所や避難路の整備が図れるよう支援施策の充実強化を図られたい。

(2) 海岸・河川における津波対策については、更なる検証を行い、必要な堤防・護岸等の整備を推進されたい。

## 3. ため池改修事業の促進

防災上から、老朽化したため池改修事業の促進と補助枠を拡充されたい。

## 4. 公共施設整備等に要する費用にかかる財政措置

防災危機管理対策として実施する庁舎等公共施設整備にかかる費用に対して財政措置を講じられたい。

## 5. きのくに防災力パワーアップ事業の拡充について

災害対策の拠点となる施設や避難路などについて、重点的整備が図れるよう、県単独補助金（きのくに防災力パワーアップ事業等）を拡充されたい。

## 6. 防災行政無線整備事業について

(1) 住民への防災情報の伝達を確実にを行うため、難聴地域への

屋外受信局の増設や戸別受信機の設置について、補助制度の創設を図られたい。

- (2) J－A L E R Tシステムに同報無線(市町村防災行政無線)が接続していない町村があるなかで、県防災行政無線の放送内容については、より分かりやすい内容とされたい。
- (3) 防災行政無線のデジタル化については、多額の費用が見込まれるため、補助制度の創設を図られたい。

# 共通要望事項



# 1 農林水産対策の充実

本県における農林水産業は、生産基盤の弱体化が進行し、経済不況のなか高齢化、担い手の減少等深刻さが年々強まっているため、次の事項について配慮されたい。

## 1. 鳥獣害防止対策の着実な推進

(1) 鳥獣被害の防止に向けては、県内全体での広域的な取り組みが必要であり、野生鳥獣の生息にも資する適切な森林施業とともに耕作放棄地の解消、捕獲による個体数の調整、進入防止策の設置等各町村の取り組みに対し総合的な支援をされたい。また、大量捕獲に繋がる新技術の開発普及を行われたい。

### (2) シカ管理捕獲等の継続

平成23年度実施のシカの管理捕獲について、報奨金の増額と期間を限定したことで、非常に大きな成果があった。これを継続的に行えば、適正生息数を維持することも可能と考えられることから、今後も事業の継続を行われたい。

### (3) 川鶉捕獲対策について

飛来する川鶉により、鮎の被害が増加し、漁業協同組合において捕獲に努めているが、県においても報奨金等を含めた川鶉対策の充実を図られたい。

(4) 有害鳥獣捕獲の担い手である狩猟者は、年々減少傾向にあるとともに、高齢化が進行しており、その育成・確保が課題となっている。

鳥獣対策の技術開発やその普及を図り、専門家の育成などに対し支援されたい。

(5) イノシシ・シカの捕獲後の埋設処理について

年々、捕獲頭数は増加傾向にあり、鳥獣害捕獲後の埋設作業は高齢者にとって重労働であるため、県内全域を（紀北・紀中・紀南）に分け、焼却等の処理施設を県事業主体でできないものか検討されたい。

## 2. 間伐材等のバイオマスエネルギー活用

バイオマスに関しては多くの情報が入ってくるが、観光施設などの公共施設での設置を検討したとき、コスト面と安定供給ということから取り入れには至らない。

県においては、情報を集約し、活用可能なバイオマスについて、コストダウン及び供給基盤の整備を促進されたい。

## 3. 農地法許可関係に係る振興局専任担当者の配置の継続について

平成23年4月1日に、県から農地法許可関係の権限が移譲されたが、当面の間、振興局に専門知識を持った専任担当者を配置し、許可基準の調整及び事務処理の統一化に当たられたい。

## 4. 担い手の育成・確保

農林水産業の担い手になり得る人材を町村の内外から確保するため、新規就農者や企業の参入に対する支援を行うとともに、都市との交流事業等を積極的に推進されたい。

## 2 社会福祉対策の充実

高齢者・障がい者・子ども等が安心して生活するためには、福祉サービスの充実が重要であるため、次の事項について配慮されたい。

### 1. 地域医療対策の推進

医師の地域偏在などにより、中山間・へき地地域での医師・医療の確保は極めて困難な状況にある。

自治体（公的）病院の意義に鑑み、安定的な医師確保のための措置を講じられたい。

### 2. 県単独医療費助成制度の堅持と乳幼児医療費対象年齢の引き上げ

福祉医療費の充実を図るため、今後とも恒久的な制度として単独医療費助成制度を堅持されたい。また、乳幼児医療費については、現行の小学校就学前から小学校卒業前までに対象年齢を引き上げ、少子化対策をより充実されたい。

### 3. 国民健康保険制度の充実強化について

国民健康保険事業特別会計については、経済情勢等の影響が大きく運営維持を行うことが大変厳しい状況にあるため、県の負担率の引き上げ等により支援策を強化されたい。

### 4. 『このとりサポート事業』の充実について

個人に対する「特定不妊治療費補助金」（上限：15万円）及び「一般不妊治療費補助金」（上限：3万円）の上限額の引き上げを図られたい。

また、医療機関に対する補助制度の周知を図られたい。

### 5. 県内公的病院間遠隔診療ネットワークの構築について

県内の公的病院間で遠隔診療を行なえるように光ネットワークの構築を県主導で推進することを検討されたい。

### 3 生活環境の整備促進及び環境保全対策

住民が住みやすい地域社会をつくるため、生活環境の整備対策を強力に実施する必要があるので、次の事項について配慮されたい。

#### 浄化槽設置整備事業に対する県補助金の継続

浄化槽設置整備事業における新築住宅への浄化槽設置補助金を継続されたい。

## 4 国道の整備促進

本県の道路整備は全国水準に比べて著しく立ち遅れている状況であり、また、大規模災害に備えた緊急輸送路の確保や観光産業振興等のためには道路整備が喫緊の課題であるため、次の事項について特段の措置を講じられたい。

### 1. 国道169号

北山村内の未改良区間の早期改良

### 2. 国道311号

上富田町市ノ瀬工区の早期完成

### 3. 国道370号

- (1) 小畑～下佐々間（未改良区間1.5km）の早期完成
- (2) 飛越橋とびこえばし～大角平成大橋（1.1km）バイパスルートの早期完成
- (3) 大角平成大橋～赤木（2.5km）までの早期完成
- (4) 小西～毛原上間の早期完成
- (5) 南海電鉄高野線九度山駅下しも～下古沢しもこさわまでの整備促進

### 4. 国道371号

- (1) 高野町～かつらぎ町花園間（12.1km）の改良促進
- (2) 古座川町真砂～平井間の早期改良
- (3) 県道すさみ古座線（串本町古田）～国道371号（串本町高富）間のバイパス計画の検討

### 5. 国道424号

- (1) 有田川町吉田ひこ～彦ヶ瀬せ間の整備促進
- (2) 初湯川うぶゆがわ～熊野川くまのがわ間の早期完成
- (3) 清川地区道路改良事業の整備促進

## 6. 国道425号

- (1) 切目川バイパスの事業促進
- (2) 川又地内未改良区間の早期事業化

## 7. 国道480号

- (1) 有田川町井谷<sup>いたに</sup>～花園間の狭隘屈曲箇所<sup>あぜ</sup>の解消及び安諦バイパスの早期事業化
- (2) 有田川町岩野河<sup>いわのがわ</sup>バイパスの早期完成及び金屋～長谷川間<sup>はせがわ</sup>の事業促進

海 草 郡  
要 望 事 項



# 1 県道等の整備促進

1. 県道岩出野上線の延伸区間（160m）の早期完成
2. 県道花園美里線  
国道370号～花園美里トンネル間（2.0km）の早期完成
3. 県道野上清水線未改修区間の早期完成
4. 山畑地区農免道路未改良区間（0.5km）の早期完成

# 2 緊急雇用創出事業について

紀美野町では、緊急雇用創出事業において高齢者の雇用や新規雇用の就業機会を図ってきましたが、期間が3年間という短い期間であり、住民の継続要望の声も多いので、事業の継続あるいは代わる事業の検討をお願いします。

# 3 ふるさと雇用再生特別基金について

紀美野町では移住・定住支援事業及び出荷サポート事業等を実施していますが、基金が無くなった場合、以降はどのような対策と財源を確保できるのか疑問である。是非とも、代わる事業の実施をお願いします。



伊 都 郡  
要 望 事 項



# 1 県道等の整備促進

## 1. 県道花園美里線

花園美里トンネル前後の未改良区間の早期整備

## 2. 県道那賀かつらぎ線の早期改修

## 3. 県道和歌山橋本線

(1) 丹生橋～慈尊院までのガードレール整備

(2) 丹生橋（左岸・右岸）交差点の拡幅整備

## 4. 県道宿九度山線

幅員が狭小で、豪雨時には通行が危険な丹生川沿いの県道にかわって整備途中の町道44号線をバイパス路線として県代形で整備をお願いします。

## 5. 県道三谷妙寺停車場線

三谷橋の新設・架橋

## 6. 紀の川左岸広域農道

3期工事の早期完了と4期工事の実施

## 7. 集落間を結ぶ防災道路の整備

災害時（国道370号の通行止め・通行不能時など）における各集落間を結ぶ道路整備に県補助の創設をお願いします。

# 2 河川等の整備促進

## 1. 桜谷川の改修について

桜谷川と紀の川の合流地点である丁ノ町地区の浸水対策

## 2. 藤谷川の改修について

藤谷川と紀の川の合流地点である佐野地区の浸水対策

# 3 教育関係施策について

## 1. 和歌山県小中学校適正規模化支援補助について

スクールバスの導入に伴う、和歌山県小中学校適正規模化支援補助の延長を要望します。

## 2. 小学校統廃合に伴う教員の複数の加配について

かつらぎ町では、平成25年度に開校する統合校もあることから、小学校の統廃合で生じる校区の広域化による教員の負担の増大、また、遠距離通学となる児童のサポート等に対応するために教員の複数の加配をお願いします。

## 3. 教員配置について

児童・生徒数による教員配置ではなく、実情に合った配置をお願いします。

有 田 郡  
要 望 事 項



# 1 県道等の整備促進

## 1. 県道有田湯浅線

- (1) 湯浅町田～栖原間のトンネル幅員狭小箇所<sup>の</sup>早期整備
- (2) 県道並びに県道沿いの防波堤が低い<sup>ため</sup>、度々越波の被害を受けているので、嵩上げ等の整備を早急に行われたい。

## 2. 県道海南金屋線

有田川町上六川地内<sup>かみむつがわ</sup>から海南市へのトンネル区間の事業促進及び市場バイパス<sup>いちば</sup>の早期完成

## 3. 県道野上清水線

楠本<sup>と</sup>～遠井<sup>い</sup>間の早期改良促進

## 4. 県道美里龍神線

遠井地区内の改修促進、三田地区の歩道整備及び全区間の調査設計と早期改修への着手

## 5. 県道吉原湯浅線

吉見地区から奥地区までの未改修区間の早期改修

## 6. 県道広川川辺線

広川町上津木<sup>かみつぎ</sup>（落合地区）丹台製材所前<sup>たんだい</sup>の橋梁部分の早期改良

## 7. 県道井関御坊線

広川町上津木（中村・落合地区）内の未改良箇所の早期改良

## 8. 森林基幹道白馬線<sup>しらま</sup>

未完成となっている広川町区間の早期完成及び完成区間の維持補修に係る財政措置の拡充

## 2 河川等の整備促進

### 1. 山田川水系の整備促進

本川については、河川改良事業等で概成されているが、支川である南谷の最上流箇所について防災上または自然保護の観点から重要な地区であるため、有田川水系等河川環境管理基本計画に基づき、早期整備促進を図られたい。

また、山田川、熊井川、逆川、北谷川についても、未改良箇所の整備及び堆積土の浚渫・除草を行い、流下能力不足解消を図られたい。

### 2. 広川河川の改修事業促進

未改修地域（名島地区より上流）の早期完成と河川の維持（浚渫・除草）、修繕（漏水・嵩上げ）を行い、流下能力不足解消を図られたい。

### 3. 江上川の改良整備促進

豪雨や台風時の高潮により河川が氾濫し、沿線の宅地・農地が浸水し、県道御坊湯浅線が冠水する被害を幾度となく受けている。

平成23年度より事業着手となっておりますが、特に住宅地周辺からの護岸改修を促進されたい。

### 4. 有田川河川改良並びに環境整備の促進

有田川の本川・支川の改良については、今後とも堤防の強化、河川内の樹木の伐採並びに浚渫、河道整備、環境整備等総合的な事業を強力的に推進されたい。

### 5. 鳥尾川の改良整備促進

未改良箇所等における護岸の改修及び堆積土の浚渫を早期実施されたい。

## 6. 西広川水門の遠隔操作化の早期実施

唐尾漁港区域内に設置されている西広川水門の遠隔操作ができるよう事業実施されたい。

## 7. 避難場所への最重要経路となる北橋の耐震化

湯浅町内沿岸地域から避難場所への最重要経路となる県施設である「北橋」の耐震化を早急に行われたい。

# 3 湯浅広港港湾整備事業の促進

湯浅広港湾については、M8の地震とそれによって起こる津波による震災対策を講じられているが、新たに被害想定を見直し、津波防波堤や海岸堤防の整備計画見直しも含めた総合的な震災対策を強力に実施されたい。

また、これと併せて、台風時等の漁船の避難港として整備を図られたい。

# 4 JR駅舎等の対策

高齢者や身体障害者をはじめ、すべての利用者が安全で安心して旅客鉄道を利用できるよう下記環境整備について、(株)JR西日本に働きかけられたい。

JR湯浅駅のバリアフリー対策を含んだ環境整備を図られたい。

## 5 生活環境の整備促進

一般廃棄物の処理は、住民の健康で文化的な生活を保障するために一日足りとも遅滞することができない町村にとって重要な施策の一つですが、その処理には多額の費用を要しているため、次の事項について、特段の措置を講じられたい。

RDF（ごみ固形燃料化）施設休止に伴う国の補助金返還等の指導・指摘について、解決に向けた支援を願いたい。

## 6 重要伝統的建造物群保存地区町並み 保存のための技術的支援・財政的援助

湯浅の醤油醸造業で栄えた古い町並みは、県内で唯一の『重要伝統的建造物群保存地区』として国から選定されており、湯浅町ではこの貴重な文化遺産を後世に継承し、地域の歴史と伝統を活かした魅力あるまちづくりに活用していくための取り組みを進めているところです。

県におかれましても、伝統的な町並みの保存に対し、引き続き技術的な支援をお願いするとともに、財政面においては、保存修理事業における現行の「国庫補助基本額から国庫補助金額を控除した額の15%且つ上限300万円以内」の補助金額を、『和歌山県重要伝統的建造物群補助金交付要綱』の規定どおり「国庫補助基本額から国庫補助金額を控除した額の2分の1以内」での交付をお願いし、地震など災害時の被害を最小限に抑えるためにも、老朽化した伝統的建造物の修理を少しでも早く進められるよう援助を講じられたい。

## 7 小水力発電計画について

有田川町で構想中の小水力発電計画の実現に向け、県河川課等と協議中であるが、建設費用1億1千万円に対して、初期投資の建設費コストアロケーションは、その約7倍と年間維持費が必要である。

資源エネルギー庁の調査でも最有望地との見解をいただいております。年間100万KW（一般家庭250世帯分）の発電は、売り上げ2,000万円を生み、時代の要請に合ったものと考えておりますので、県と町の調整機関を設けるなどその実現に向けて、特段のご配慮をお願いします。



日 高 郡  
要 望 事 項



# 1 県道等の整備促進

## 1. 県道御坊美山線

船津工区の整備促進と皆瀬地区の法面保全

## 2. 県道田辺印南線

西本庄地内の「五味」から「神の倉」間への橋梁整備（仮称：神の倉橋）の促進

## 3. 県道御坊中津線

- (1) 三津ノ川から主要県道に接続する部分の早期整備と大又～三津ノ川間の早期接続
- (2) 下田原から姉子地区間の早期整備

## 4. 県道御坊湯浅線

衣奈トンネル延長300mの早期事業着手

## 5. 県道御坊由良線

- (1) 本ノ脇漁港付近から三尾<sup>おいほ</sup>逢母海岸にかけての狭小箇所の改良と土砂崩落危険箇所の抜本改良
- (2) 阿尾<sup>あお</sup>地区から田杭<sup>たかくい</sup>地区間の早期整備
- (3) 白崎海洋公園から小引<sup>こびき</sup>に至る区間と江ノ駒<sup>えくま</sup>から神谷<sup>かみや</sup>の区間の早期整備

## 6. 県道柏御坊線

中志賀地区から柏地区間の早期整備

## 7. 県道滝切目停車場線

滝<sup>たかの</sup>・高野地内における小規模道路改良事業の早期完成

## 8. 県道<sup>げんこ</sup>玄子小松原線

玄子から中津川間の未改良区間の事業採択の推進

## 2 河川等の整備促進

1. 切目川の改修  
切目川河口～はろく羽六橋までの6.5 km区間の河川改修の促進
2. 切目川ダム建設事業  
切目川ダム建設の推進・促進
3. にしがわ西川の改修
  - (1) しいざき椎崎地区・にゆうやま入山地区の河川改修の促進
  - (2) 河口部（西川と日高川との合流付近）への水門設置
4. ひがしうらがわ東裏川の改修  
河道断面の確保等、東裏川河川基本計画の検討
5. 南部川水系（古川）の整備促進  
総合流域防災事業の早期完成
6. 前田川の早期改修  
河道の狭小・屈曲、堤防決壊の恐れのある箇所<sup>の</sup>早期改修
7. はぶ土生川の早期整備  
下流部分における未整備の早期整備
8. どうじめがわ堂閉川の早期改修  
道成寺付近の浸水対策
9. 日高川の整備促進  
日高川（若野工区）広域河川改修事業の早期完遂
10. 河川流失ゴミ対策及び海岸漂着物の回収等について  
河川流失ゴミ対策及び海岸漂着物の迅速かつ適切な処理と、

これに伴う各種補助事業の適用等による財政支援の検討をお願いします。

### 3 煙樹海岸整備事業の促進について

煙樹海岸は、煙樹海岸県立自然公園内に位置し、既に県により、海岸環境整備事業を実施されているところです。

しかし、度重なる台風の高波による海岸浸食及び予想外の越波が生じており、高潮時に来襲した場合には、多くの越波が生じ、背後地の家屋等に甚大な被害が予想されます。

つきましては、煙樹ヶ浜の両端である浜ノ瀬地先及び本ノ脇地先がその傾向が顕著であるため、海岸浸食・高潮対策への対策工を早急に行うようお願いいたします。

### 4 由良港の整備促進について

由良港は、紀伊水道の湾奥に位置し、古くから良好な港湾として活用されているところでありますが、近年の温暖化等により、和歌山県に接近する台風も年々大型化・強大化しております。最近では、平成16年の台風により、町内沿岸部においても、多大な被害をもたらしたところであります。本年3月11日の東日本大震災でも、ハード対策が津波被害を軽減し、効果があったと聞いており、東南海・南海地震発生の脅威が高まっている中、その対策が喫緊の課題であります。当町といたしましては、避難訓練等、自主防災組織の活動を通して、地域住民の防災意識の高揚に努めておりますとともに、様々な防災活動を展開しておりますが、台風による高潮等に対しては、施設整備によるハード対策が最重要と考えております。つきましては、由良町の振興と住民の安全・安心を確保するための有

効な対策をご検討いただくとともに、地域の実情をご賢察の上、避難港としての由良港の更なる活用に結びつく港湾の整備をお願いいたします。

## 5 防災対策について

### 1. 防災ヘリポートの設置について

日高川町は、日高川に沿って拓けたところで、地形的に急峻なところが多く、人家も急傾斜地に建てられているところが多く、土砂災害防止法に基づく特別警戒区域が全世帯の70%に及ぶ地区もあります。大規模地震等の発生が予想される中、急峻な谷間の集落が多く点在する中で、集落の孤立化対策が急務となっており、土砂災害防止法に基づく特別警戒区域の斜面保全とともに、併せて砂防事業（特定利用斜面保全事業）と連携した防災ヘリポートの設置を強く要望します。

### 2. 避難所を兼ねた産品直売所の創設について

日高川町においては、御坊市民の避難先ともなることが予想されることから、広域的な見地から一般道と高速道路を跨ぐ避難所（備蓄基地的な機能を備えた施設）を兼ねた産品直売所の創設をお願いします。

## 6 看護師養成所の設置に対する 財政措置について

近年の地域医療は高度化・専門化しており、また、救急医療のニーズも益々増大しています。このような状況下で、住民の生命を守

るため、医療の質と安全性の向上が極めて重要となっています。そのためには、医師とともにチーム医療の主軸をなす、看護師の確保が欠かせません。一方、現状において、看護師確保については、修学制度の導入や様々な求人努力が重ねられていますが、まだまだ不足の状況にあります。そのため、夜勤回数の増加など、勤務環境は一層厳しいものとなり、それが離職に繋がるなど悪循環となっています。また、御坊保健医療圏には看護師養成所が無く、さらに看護師確保が困難な要因となっています。和歌山県と御坊・日高の市町が共に責任を分担しながら、地域の看護師不足の解消を図るため、御坊保健医療圏に看護師養成所を設置すべく、強力な財政支援をお願いします。

## 7 企業立地基盤の整備について

企業誘致で重要要件となる光ファイバー網など情報インフラの整備は、当地方は非常に遅れており、誘致の際に大きなマイナスとなっているため、早期の整備促進をお願いいたします。また、工場排水処理の総合対策についても推進を特にお願いたします。

## 8 農林水産対策の充実について

### 1. 林道白馬線の供用開始後の維持管理費に対する県からの財政支援について

林道白馬線は、全長50.7kmの内22.1km(約43.6%)が日高川町の維持管理となります。供用開始後の通行量を考えると、維持管理費が多額に上がることが予想されるので、本林道の広域的な位置づけを考慮し、維持管理費について県からの財政支援をお願いします。

## 2. 林野公共事業の地方事務費等の削減に対する県補助金について

平成22年度から林道公共事業において、事務費（事務雑費、工事雑費）が削減されたが、事業実施に必要不可欠な工事雑費について、県からの措置をお願いします。

西 牟 婁 郡  
要 望 事 項



# 1 県道等の整備促進

## 1. 県道岩田保呂線

- (1) 上富田町生馬<sup>いくま</sup>～白浜町保呂<sup>ほろ</sup>の早期改良
- (2) 岩田・田熊<sup>たぐま</sup>～白浜町保呂地内の改良促進

## 2. 県道田辺白浜線

- (1) 上富田町郵便橋～白浜町堅田間の線形不良箇所の早期改良
- (2) 白浜駅周辺の整備と県道のバイパス化

## 3. 県道すさみ古座線

上戸川<sup>かみとがわ</sup>～小河内間<sup>おごうち</sup>の早期改良

## 4. 県道白浜温泉線

白浜漁協～総合体育館までの歩道設置

## 5. 県道上富田南部線

岡・深見地内～国道311号までの早期改良

## 6. 県道上富田すさみ線

江住<sup>つづら</sup>～防己間及び佐本栗垣内<sup>おおつき</sup>～大附間の改良

## 7. 県道日置川大塔線

全線2車線化の早期実現

## 8. 県道白浜<sup>ひさぎ</sup>久木線

通行不能区間の早期改修

## 9. 県道下川上牟婁線

上富田町市ノ瀬・小山～鮎川<sup>かなやまぐち</sup>・鉛山口地内の早期改良

## 10. 県道城すさみ線

通行困難箇所及び危険箇所の改良促進と併せて防護柵の設置をお願いします。

## 11. 県道大附見老津停車場線

通行困難箇所及び危険箇所の改良促進

## 12. 白浜空港フラワーライン線

高速道路と白浜温泉街を結ぶ重要なアクセス道路であり、高速道路と同時供用できるように現在、ルート変更の検討に取り組んでいただいております未事業化区間の早期事業化をお願いします。

# 2 河川等の整備促進

## 1. 富田川

- (1) 中地区、栄地区の護岸改修
- (2) 保呂地区から河口付近までの堆積土砂と草木の除去
- (3) 岩崎地区（郵便橋右岸上流600mの区間）の低水護岸整備
- (4) 市ノ瀬畑山地区（潜水橋左岸下流300mの区間）の低水護岸整備
- (5) 生馬地区（林業センター前）の低水護岸整備
- (6) 生馬橋下の低水護岸整備
- (7) 岩田橋から上流300m地点の低水護岸整備

## 2. 庄川

護岸改修及び堆積土砂と草木の除去

### 3. 日置川

- (1) 田野井地区の護岸改修
- (2) 安居地区、ロヶ谷地区の護岸根固工
- (3) 大地区の堤防改修
- (4) 矢田地区の河川防災ステーション整備

### 4. 高瀬川

富田川増水時の逆流防止対策及び護岸修繕、堆積土砂と草木の除去

### 5. 岡川

三宝寺橋から下流の低水護岸整備

### 6. 周参見川

原地区護岸整備

## 3 海岸環境整備の促進について

### 1. 白浜海岸環境整備事業の促進について

白良浜の整備事業は、昭和56年に着手され、現在、離岸堤、階段護岸、養浜、潜堤等が整備されております。

白浜町のシンボルである白良浜は、本事業の進捗により海水浴客も増加し、シーズンには大変な賑わいを見せております。

しかしながら、近年、海浜砂が黒色化するという問題が顕在化するなど諸課題が明らかになってきたため、「防護・利用・環境」にバランスのとれた計画を再検討され、事業の促進に格段のご配慮をお願いします。

### 2. 日置海岸高潮対策事業の促進について

日置海岸は太平洋の外海に面しているため、高波が来襲しや

すく、越波により背後地にある公共施設や住宅地が浸水して大きな被害が生じるため、平成16年度から事業に着手されております。

景観に配慮して波浪を低減し、越波を防止する人工リーフの整備をしていただいておりますが、海岸線の延長が長く整備速度が遅いことから、事業費を増額の上、早期完成に格段のご配慮をお願いします。

## 4 漁港整備事業について

漁業従事者の就労環境の改善が効果的に達成できるよう、漁港整備事業（堅田漁港ストックマネジメント事業）に格段のご配慮をお願いいたします。

## 5 砂防及び急傾斜地崩壊防止対策について

紀南地方は年間降雨量も多く、また地形も急峻であり、急傾斜地崩壊防止対策は、災害を未然に防止する上で必要不可欠なものであることから、大幅な予算の確保をお願いいたします。

## 6 公共下水道事業に対する県交付金の引き上げについて

公共下水道事業に対する国庫補助金は、補助対象事業費の50%残りの財源につきましては起債及び公費等で賄っている。

平成14年度から建設事業費に対する県費補助金が廃止され、このことが更に膨大な後年度負担を招き下水道会計を圧迫するとの見地から、元利償還財源に充てる県交付金制度が創設されたが、依然として町村の下水道会計は非常に厳しい現状である。

公共下水道の一層の推進を図るため、県交付金の補助対象額及び補助率を引き上げられたい。

## 7 公設の情報通信施設の維持管理及び更新時の支援

公共事業として設置した情報通信施設の維持管理費に対する補助金制度等の創設と同施設の改修時（耐用年数経過後）の支援策を制定されたい。



東 牟 婁 郡  
要 望 事 項



# 1 防災対策について

## 1. 急傾斜地（森浦汐入地区）崩壊対策事業の促進

太地町内においては、急傾斜地も多く降雨時の崖崩れや地滑りが大変心配される状況にあり、工事の施工により整備もなされていますが、依然として一部地域において危険個所が残っており早急な安全対策が必要であります。森浦汐入地区内の事業の促進をお願いします。

## 2. 避難場所及び避難路の確保

太地町内においては、急傾斜地崩壊対策整備の早期施行をおこなっていただき、崖崩れや地滑りに対する安全対策は着実になされている最中ですが、一方、津波に対する避難路が少なく、災害時に高台への早期避難ができないことが危惧されます。よって、急傾斜地崩壊対策事業整備完了場所への避難路（高台への階段等）の追加整備をお願いします。

## 3. 古座川河口の両岸附近等、県管理地である海浜地及び河口付近への自然エネルギー型避難誘導灯の設置及び管理をお願いします。

## 4. 耐震基準値に満たない木造住宅の耐震化率向上に向けて耐震改修に係る県費補助金の増額をお願いします。

## 5. 津波避難困難地域の対策について

- (1) 天満浜ノ宮海岸の既存防潮堤の補強改修・嵩上げをお願いします。
- (2) 下里海岸防潮堤整備を早期に着手願います。
- (3) 田原川河口付近の堤防及び護岸等の整備促進をお願いします。

## 2 県道等の整備促進

1. 県道高田相賀線的那智勝浦町への延伸
2. 県道勝浦港湯川線  
那智勝浦町湯川（越瀬）地区～太地町夏山間の早期着工
3. 県道梶取崎線  
平見地区内の改良促進
4. 県道串本古座川線  
古座川町（三尾川）～串本町（和深）間の改良促進
5. 那智勝浦町（湯川）～串本町（上田原）間の整備  
当区間には、通行不能区間があり、また、迂回路も国道42号線のみであるため、災害時における同路線の役割は重要なことから早期改良整備をお願いします。

